



発行
日本共産党
徳島県議会議員
扶川 敦
板野町犬伏
電話
088-672-5875
2007/03/07

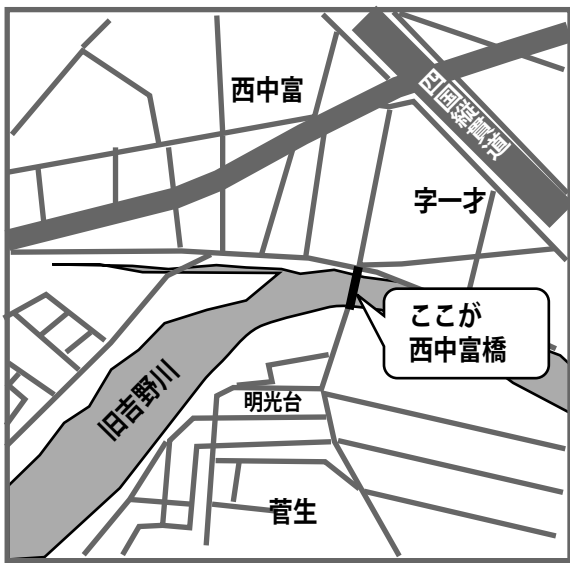
なんでもお気軽にご相談ください
日本共産党板野郡生活相談所
電話 088 (672) 5875

西中富橋の改善へ取り組み状況のご報告

県議会議員扶川敦 県政みたま 西中富版



歩道の設置など対策が求められている西中富橋の現況（3月5日）



災害時の逃げ道確保など住民の声

明光台自治会の皆さんからご要望いただいたとおり西中富橋の改善に関して、これまでの取り組み状況をご報告します。

天羽生美町議と一緒にご要望をお聞きしたことをきっかけに、これまで何度か国土交通省旧吉野川出張所と板野町の担当者からお話を聞き、中島板野町長さんともお話を重ねて改善の可能性を探ってきました。

国の河川改修は ずっと先

河川管理が国、道路・橋の管理が町という西中富橋のような場合

合、河川堤防整備に伴う橋の架け替えなら、国が全部負担してくれます。

しかし、旧吉野川は下流の堤防がまだまだ未改修であり、車が対面通行できない橋も残っています。下流から順次改修することが河川改修の原則ですので、河川拡幅を伴う改修工事が西中富橋までやってくるのは、はるか先のことになってしまいます。

また、本格的な架け替えの場合は、橋の底

町が橋を 拡幅するには

そこで、当面の対応は、町として現在の橋を拡幅できないかというところになります。拡幅工事の可能性と

部が堤防の上端よりいくらか高くなるかという基準を満たす必要があります。西中富橋の場合でも、相当橋の中央部が高く盛り上がった形になり、橋の南北に相当の用地買収が必要

しては、左図に示したように色々な案があります。

その場合、住民の皆さんのご要望を満たしながら、最小限の予算で、しかも強度的に問題がない改修を、いかにおこなうかが課題です。もちろん、河川管理者である国の承認は必要です。

昨年10月には、明光台集会所に町長さんら町の担当者と住民の懇談会が開かれ、私も参加させていただいて、取り組み状況をご報告しました。

そのときに私からは、「国は、町から案を示してもらえれば検討します。」

ると言っている」とご紹介しました。

その後、町から国交省旧吉野川出張所に対し一度イメージ的な案を持っていきましたが、この案は車が対面通行できる程度まで路面そのものを広げる案でした。費用的・強度的に疑問がありました。

そこで、現在改めて、車が一台通れる現在の橋に何らかの形で歩道をつける案も検討されています。

財源としては、来年度以降、国の交付金制度や新規の補助金制度をどう使えるか、町の負担を少しでも軽減するために、見極めが必要

引き続き 取り組みます

いずれにしても、河川改修ができるまで何十年も待つわけにはいきません。住民皆さんの要望が一日も早く実現するよう、引き続き取り組んで参ります。

